



私の日々にとって聖体とは何か

傘木澄男神父

六月三日に聖体の祭日を祝いました。聖体については何よりも、聖体が私たちの日々の生活にとってどういう意味を持ち、どのような力となっているか、が大切です。或る人が「二千年の歴史を通してキリスト者はイエスの主要な掟や招きを、人間的な弱さのために全て一貫して無視して来たのではないか」と言っています。「敵をも愛しなさい、兄弟たちを七の七十倍までも赦しなさい、悔るな、姦淫するな、盗むな、偽証するな」などの戒めを考えて見ますと、確かに私たちはこれらイエスの要求を、言い逃れを言うばかりで真剣に守ろうとはしてこなかったのだと認めざるを得ません。しかし、その私たちが二千年来忠実に守ってきたと言えるイエスのご命令が、一つだけあります。それは「私の記念としてこれを行いなさい」というものです。感謝の祭儀を行うことです。

司祭は毎日ミサを行ってきまして、今でも大抵の司祭は毎日のミサを大切に余程の事情のない限り行っているでしょう。なぜでしょうか。そうせずにはおれない多くの理由があるからです。聖体に秘められた深遠な現実の数々です。これら秘義の一つに注目するだけでも、ミサなしで一日を過ごすことは考えられないこととなります。長い間孤独感に苦しんでいた一青年が「一つの体、一つの霊の内に皆が一つに引き寄せられる」というみことばに救われて、これが自分の孤独を完全に終わらせる言葉となったと述懐しています。「キリストの内に一つの体となる」、これこそ聖体の真の意味です。聖体は人間の孤独を取り去る神の熱い抱擁です。言わばお手上げの状態の最後の祈りです。

多くの司祭にとって毎日聖体祭儀を行うのには、もう一つのより個人的な理由があります。それは、聖体こそ自分が司祭として忠実を守り抜いて根本的な基準に到達できると感じられる唯一の場だからです。自分がどんなに不完全で疑いや迷いにまみれていても、この一つの重大で深遠な使命においては、日々規則正しく聖体祭儀に赴いて、忠実を守り抜くことはできます。弱い不完全な私たちにとって聖体祭儀はイエスご自身が私たちにお与え下さった唯一の儀礼ですから、自信を持つことができる場なのです。そこで私たちは、亡くなる前の晩イエスが私たちに残されたこの招きに、ひたすら依り頼もうとするのです。「私の記念としてこれを行いなさい。他のあらゆるものが不確かでも、これは私が再臨するまでの間、あなた方がしていなければならないものと信頼しなさい。」ルーテル教会の司祭で殉教者の D. ボンフェーファーが或る結婚式の説教で残した一つの言葉があります。私はこれを結婚式の説教で必ず紹介して、新婚夫婦に覚えて貰っています。「今あなた方は愛し合っており、あなた方の愛があなた方の結婚を支えることができると信じておられます。しかしそうではありません。あなた方の結婚があなた方の愛を支えることができるのです。」聖体はキリスト者にとってまさしくそれです。私たちは信仰と愛、赦しと希望を、聖体によってこそ支えることができるのです。主が「私の記念としてこれを行いなさい」と命じられたこと、いつも規則正しく聖体に赴くというこの一つの大切な深遠な道を歩むことにおいて、私たちは神への愛と忠実を確かに守り通すことができるのです。

2018年度5月度 住吉教会評議会議事録

1. 日時:2018年5月20日(日) 11:10~12:22、出席者13人、住吉教会1階第2会議室

2. 始めの祈り

3. 議事

I 星の園幼稚園連絡、協議事項

お泊り保育日程:7月19日(木)~20日(金)(予備日7月23日~24日)、住吉教会
2階和室、シャワー使用。

II 審議事項

(1) 2018年ふっこうのかけ橋事業支援について

今年の行事概要:8月2日(木)姫路城見学、たかとり教会(前泊)

8月3日(金)~5日(日)神戸合同キャンプ:神戸市立自然の家(六甲山)

住吉教会後泊 8月5日(日)~6日(月)夕食と朝食お手伝い募集。

募金期間 6月10日神戸地区大会受付で募金。バンダナ販売(グリーン、オレンジ)

その後、各教会でも支援活動を実施する。

(2) 夏の行事について:神戸地区平和旬間行事、平和祈願ミサ 8月4日(土)13時開会

テーマ「平和な世界という夢を分かち合おう~排除のない世界を求めて~」

聖母被昇天ミサ 8月15日(水)19:00、のち すいかミサゴ

住吉教会バーベキュー 8月26日(日)15時準備、17時開始(19時迄,)のち皆で片付け

教会学校:今年は神戸合同キャンプ(ふっこうのかけ橋 2018)に合流。別途遠足も検討。

(3) 神戸地区大会 6月10日(日)9:00 住吉教会バス出発。直前準備状況について

現在43名。当日受付担当(10名必要)、プログラム冊子、アンケート用紙、鉛筆配布
受付に献金箱設置(ミサ前のみ)、ミサ開始時集約し、神戸中央教会 Yさんに渡す。

(4) 住吉教会バイリンガルミサ、セニョール・デ・ロス・ミラグロス、奇跡の主行列、イベント

10月28日(日)10:00 ミサ(9月評議会を中心に国際チームと打ち合わせ)

☆教区国際協力の日ミサ、イベント 10月21日(日)11:00ミサ(カテドラル)

(5) 待降節・四旬節黙想会 指導司祭、修道者依頼について

候補:赤波江謙一神父(大阪梅田ブロック協力司祭)

シスター山口(シヨファイユの幼きイエズス修道会 仁川本部修道院長)

中川博道神父(宇治聖テレジア修道会)

待降節は地区大会後、シスター山口に講話依頼、四旬節は中川神父様に黙想指導依頼

Ⅲその他

- (1) 源平桃害虫駆除;業者依頼(営繕チーム K さんにお問い合わせ)、費用支払い(教会会計)
- (2) キッチンの冷蔵庫(アメリカ製、老朽化、消費電力大)の買い替え:業務用冷蔵庫(エコタイプ)購入承認。住吉教会フィエスタ(11/11)より前に設置が望ましい。
- (3) H 老人クラブ会報(10月号)への広告掲載(教会、幼稚園連名)
今年度継続。来年度は取りやめ。住宅地図への広告依頼は継続。
- (4) 6月17日(日)9:30 ミサ コーナン神父様司式、14:00 教区再宣教150周年記念ミサ
- (5) 住吉教会フィエスタ:7月実行委員会立ち上げを要請。S 委員長に就任依頼。

当日(11/11)園庭通用門はミサ前・中オートロック施錠。焼き鳥スタッフは風除室南入口使用。

Ⅳエマニュエル神父様からのお言葉

これからの共同体の歩みとして、行事だけでなくお互いを兄弟姉妹として、同じ信仰、聖霊の働き
同じ心を持ち、認め合う。グループづくり(祈り、分かち合い、地区、家庭集会)の取組み。
教区方針を受けながら進めて行きます。

終わりの祈り

☆次回 7月15日(日)11:00~ (6月17日(日)は教区再宣教150周年開年ミサ)
(8月はお休みとさせていただきます。)

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会の運営やいろいろな活動を支える財源の中で最も大きな部分を占めるのが信徒からの教会維持費です。

カトリックでは教会の掟の一つとして「各々の分に応じて教会維持費を負担すべし」と定められています。いつも私たちと共に居られ、守り導いて下さっている神様に対する感謝の気持ちを私たちは金額の多寡に拘わらず捧げることが大事だと思います。

住吉教会へ来られている方で教会維持費をまだ納めておられない方は可能な限りのご協力をお願いいたします。(財務チーム)